

# 図書委員会からのおすすめの本

本好きのための 本好きに捧ぐ本

## 1冊目 『注文の多い料理店』

11月29日(月)放送分



まず、1冊目は 宮沢賢治作『注文の多い料理店』です。

小学校の教科書にも載っていたので 知っている人も多いと思います。

お話はお腹をすかせた二人の紳士が白熊のような犬を2匹連れて、ある山の中の1軒の西洋料理店を訪ねることから始まります。

店内では紳士たちに向けて様々な要求が貼り紙に描かれています。私ならはじめの方で少しおかしいなと思い、立ち去ると思いましたが 紳士たちは全く疑問も抱かず先に進むところが怖いです。

私は宮沢賢治の作品の中でもこの本が一番好きで、特に「ことに肥ったお方や若いお方は大歓迎いたします」という言葉に反応しない紳士たちに驚きました。

何度も何度も読み返して 小学生の頃から時間が経っているのにまだ覚えているほどです。絵本も色々な作家さんが絵を描いていて 作家さんの絵を見比べるのも楽しいかもしれません。



# 図書委員会からのおすすめの本

本好きのための 本好きに捧ぐ本

2冊目 『ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人』

11月29日(月)放送分

2冊目は 東野圭吾作『ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人』です。

あまり人が訪れることのない町で、中学元教師だった神尾真世の父が同窓会開催を目前に何者かに自宅で絞殺されるという、動機すらわからないような殺人事件がおきます。

真世の同級生など登場しますが、犯人犯の予想をしても お話の展開によって予想が色々とかわってきます。東野圭吾さんのミステリー作品は探偵役もシリーズ化されている作品も多くありますが、今回は主人公真世の叔父が探偵役となっています。この叔父は警察に協力するのではなく 自分自身で捜査を進めていき 登場人物が知らない所で謎が暴かれていきます。

見どころは 探偵役の叔父がもとマジシャンだったこともあり、言葉巧みに警察や関係者から情報を手にするところです。

この本は2020年に出版された新しい本で、最近のコロナウィルスのことについても描かれていて現実味をおびていると思います。東野圭吾さんの作品は他にも『ガリレオ』シリーズなど映画化やドラマ化など、メディア化された作品が多くありますのでぜひそちらも読んでみてください。